

守山企業景況調査について

(平成22年1月～平成22年3月期)

1. 調査方法

- 守山商工会議所会員企業71社に対し調査票を配布し、回答を依頼した。
- 記入済み調査票は商工会議所へ持参、郵送、Fax等により回収した。

2. 調査企画

産業別	調査対象企業数	有効回答企業数	産業別
小売業	20	20	100%
製造業	13	13	100%
建設業	12	11	91.7%
サービス業	20	20	100%
卸売業	6	6	100%
合計	71	70	98.6%

3. 調査期間

調査期間は、実績を平成22年1月～平成22年3月、見通しを平成22年4月～平成22年6月とし、調査時点は平成22年4月28日とした。

4. 調査結果

平成22年1月～3月期の守山企業景況調査の結果は、以下の通りである。調査結果はDI指数（景気動向指数）を用いて示している。

<業況>

前年同期と比べた1月～3月期の業況判断は、▲29.4となっている。業種別では、製造業が▲15.4と最も高く、建設業の▲20.0、サービス業▲30.0、卸売業▲33.3と続き、小売業の▲42.1が最も低くなっている。この数値は小売業以外では平成21年10月～12月期に比べかなり改善した。小売業は、10月～12月期と同数値であった。

4月～6月期の見通しでは、製造業が1～3月期に比べ7.7ポイント高い▲7.7、サービス業が5ポイント高い▲25、卸売業が33.3ポイント高い±0と更なる改善が期待されているが、小売業では1～3月期に比べ4～6月期見通しは5.3ポイント低い▲47.4、建設業では30ポイント低い▲50となった。

※ 詳細は別紙【守山企業景況調査についての結果】をご覧ください。